

# Static Wind

F-117A "ゆきホーク" 製作・飛行説明書

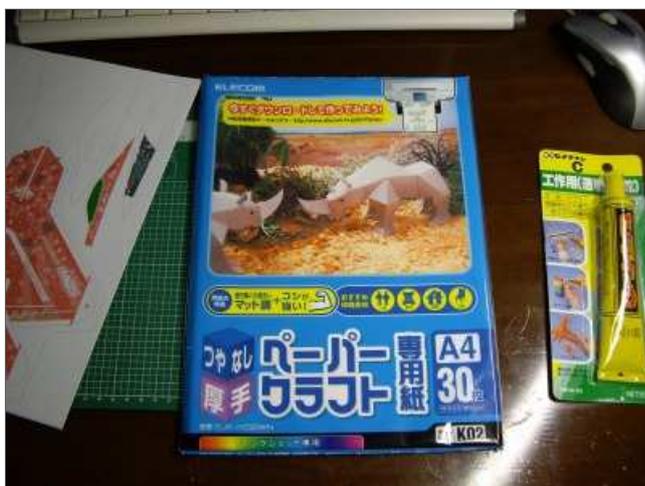
## 組み立て説明

### 下準備(全機種共通)



まず必要な道具。  
左からカッター、はさみ、テープ、インクの切れたボールペン、ものさし、セメダインC、ヘラです。

飛ばさない場合はセメダインCの代わりに工作用ボンド等が  
使えますが、紙が歪むので木工用ボンドは非推奨です。で  
きるだけ溶剤系の接着剤を用意してください。



紙はELECOMのペーパークラフト専用紙を使いました。  
つやなし厚手のものが向いています。

ELECOM ペーパークラフト専用紙 EJK-HC2WN

秤量160g/m<sup>2</sup>前後のケント紙でも代用できます。



ボールペンで展開図に折り目をつけておきます。  
インク切れのものがみつからない場合はキリ等の尖ったも  
ので代用。

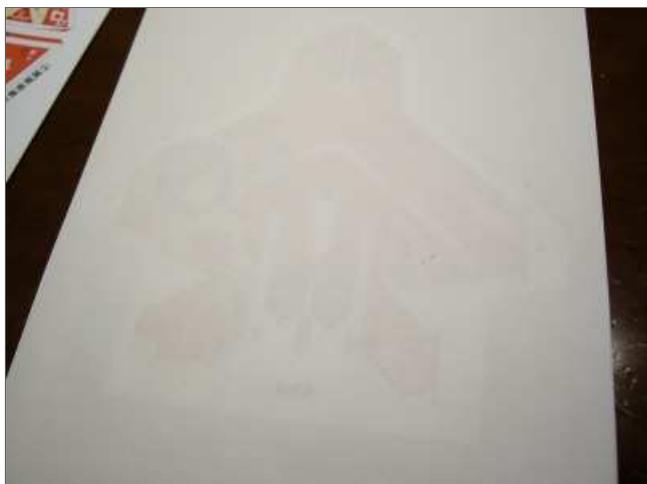
## 主翼貼り合わせ



青線にそって主翼を切り抜きます。



ずれないように貼り合わせます。  
はみ出しても汚れにくいようになっているので、  
接着剤多めで確実に接着してください。



紙を一枚のせ、その上からしっかり擦って固定します。



平らなものに挟み、重しをのせて一晩ほど放置。  
時々取り出してゆがみをとります。

## 胴体



折り線に沿って折って



まず左右分割の2枚を後ろからつなぎます。  
胴体が歪むと主翼にまで影響するので、できるだけずれな  
いよう慎重に作業してください。



前も接着。  
のりしろが細いので爪楊枝の使用を推奨。



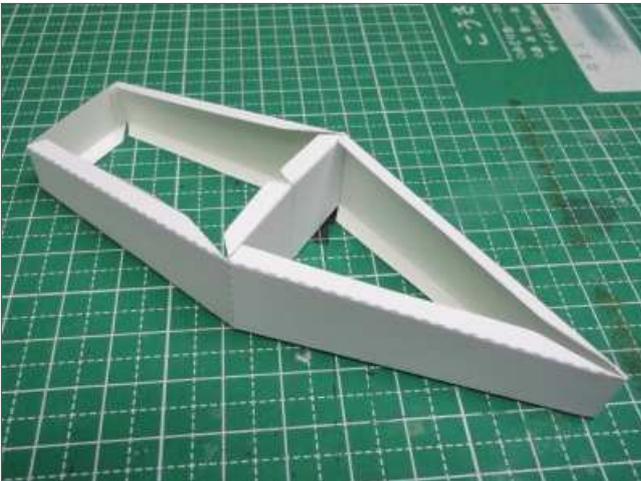
後部胴体の下半分を接着。  
一気に接着せず、前→乾燥→後ろと接着するとずれにくくなります。



上半分も接着。



インテークを接着。



胴体内補強パーツを写真の形に組みます。



胴体内側の折り目に合わせて接着。



ディスプレイモデルでも飛行モデルでも重りを入れます。  
ペーパークリップ7個か4gの重りを機首に固定。



ここもずれやすいので、先端の三角を接着し乾燥させてから後を一気に接着します。



胴体補強パーツも接着し、胴体は完成。

## 尾翼

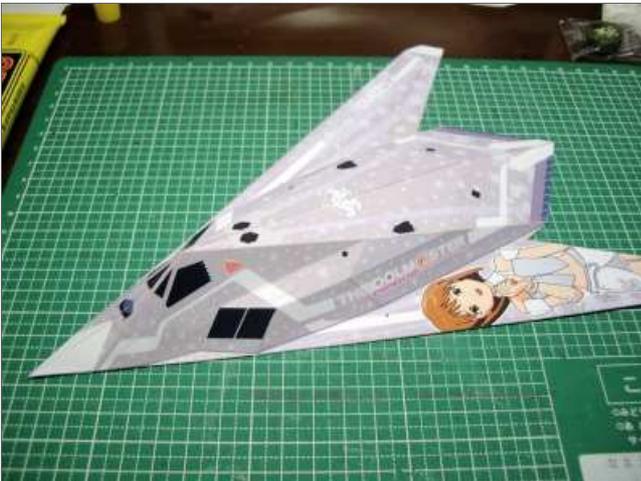


特に難しいところはないかと。  
貼りあわせて完成。

## 主翼接着



一晩おいた後、ドライヤーでゆがみを取りながら完全に乾燥させておきます。そして余白をカット。



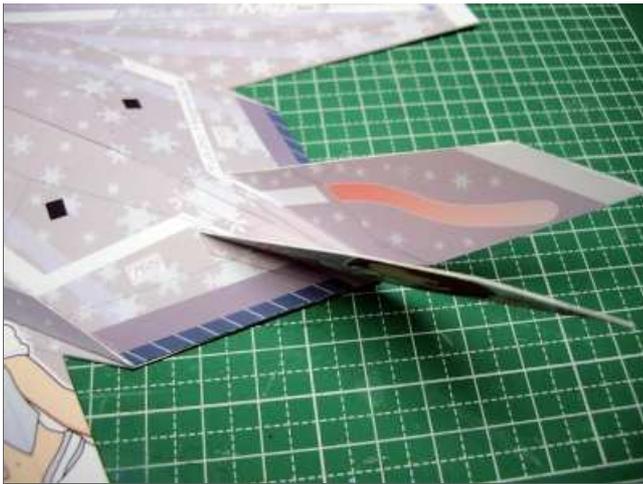
一気に胴体を接着。  
この機体で最も難しい箇所です。接着剤を多目に盛り、後ろをしっかり押さえて固定してから前方を接着するとずれにくいです。

完全に乾燥する前に機体を前から見て、ねじれをとっておきます。

## 尾翼接着



胴体の模様に合わせて接着。



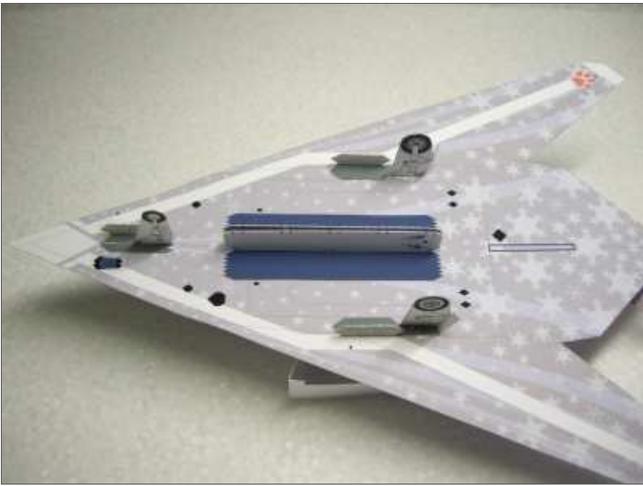
## アクセサリ



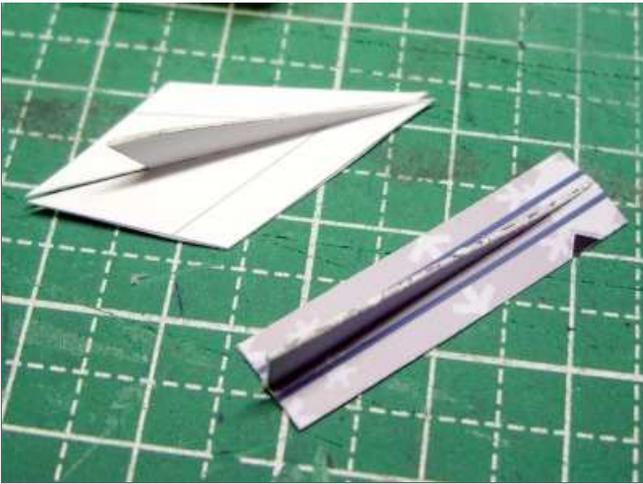
スタンドを組立て。



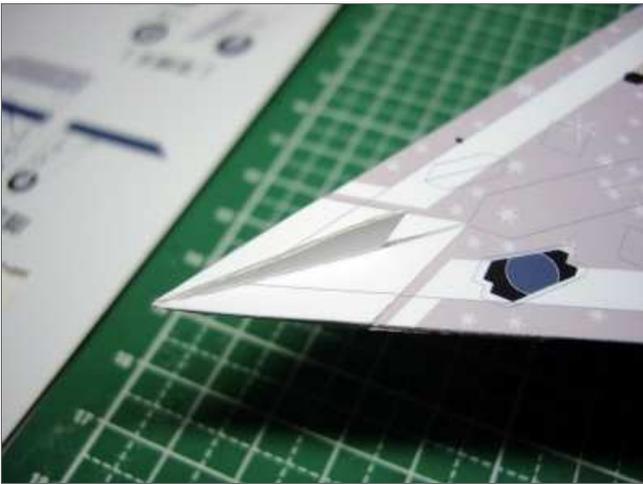
ディスプレイモデルはランディングギア、ウェポンベイを組立て、



底面のラインに合わせて接着。



飛行モデルはフック、ツマミを組立て、



底面の模様に合わせて接着。



## 完成



ディスプレイモデル

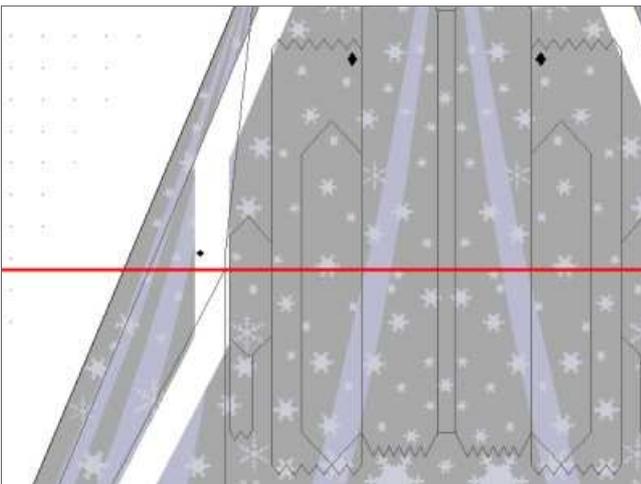


飛行モデル

…とこのように組みあがります。  
印刷面保護と防湿のためにクリアラッカーを吹いておいてください。  
特に屋外で飛ばす場合はしっかり吹いておかないと悲惨なことになります。

## 調整・飛行

### 重心位置



前後の重心位置は図の赤線に合わせます。(おおまかでok)

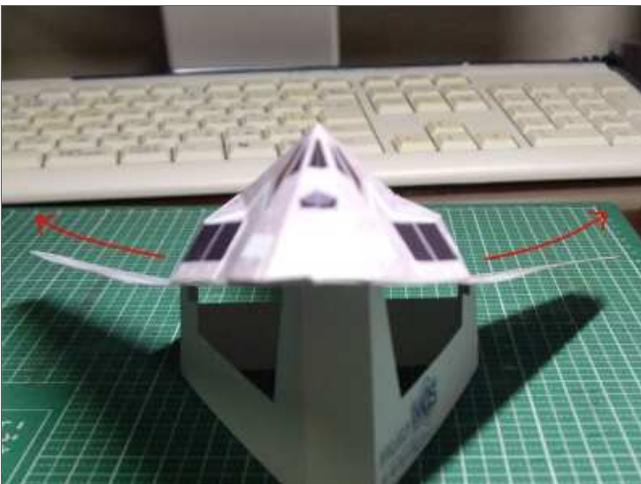
## 翼



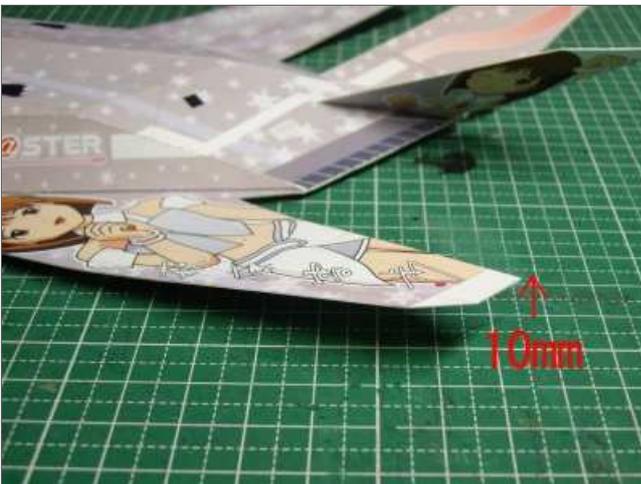
前後から機体を見て、主翼・尾翼がそれぞれ一直線に見えるようにゆがみ・ねじれを修正します。



尾翼の角度は写真を参考に。  
機体表面でなく、機体の前後軸と完全に平行になるようにしておきます。



前から見て、主翼をわずかに反らします。



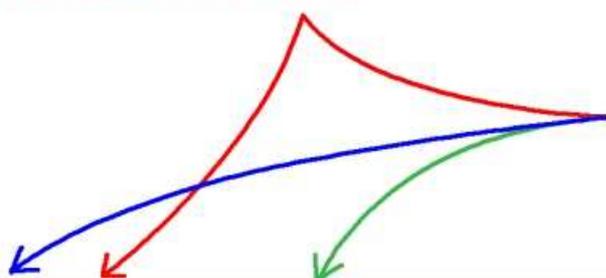
「どんがラプター」の水平尾翼同様、主翼の後端は10mmほど上にねじり上げておきます。

## 飛行



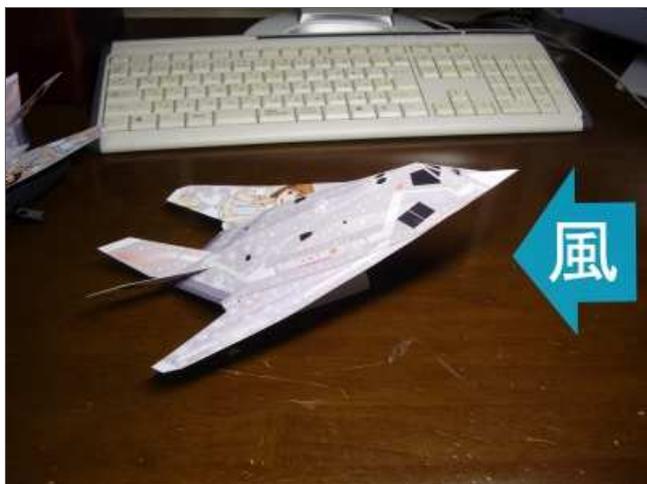
紙飛行機用ゴムカタパルトがあれば最適ですが、なければ輪ゴムを5本つないでも代用できます。

青：適正  
赤：水平尾翼をわずかに下げる  
緑：水平尾翼をわずかに上げる



風に向かって軽めに飛ばし、主翼の後端を調整します。この機体は緑、下向きの傾向が強いので大胆な調整が必要になります。

また、抵抗が増えるので尾翼での調整はしないでください。



俯角5~10°、風に向かって射出するのがいい感じです。機体のロール安定が不足気味なので直線飛行に向きません。

見かけより抵抗が小さく、飛行速度は速いです。左右のバランスにシビアなので、どちらかに傾いていって墜落する場合は傾きと反対側の主翼の跳ね上げを増やします。

また機首が尖っているので、人のいる所で飛ばす場合はスポンジやゴム等で保護する必要があります。